



新春を迎えて



社会福祉法人
鹿児島県社会福祉協議会
会長 溝口 宏二

あけましておめでと
うございます。

皆様におかれまして
は、健やかに平成24年の
新春をお迎えのことと
お慶び申し上げます。

昨年は、3月11日に発
生した東日本大震災、こ
れに伴う福島第一原子
力発電所事故、欧州のソ
ブリノリスクや長びく
円高は、国内経済に大き
な影響を与えておりま
す。

被災地域の復旧・復興
の予算措置、関連法案も
成立し、これから本格的
な復興への取り組みが進
められることとなりま
す。英知を結集し、迅速
かつ効果的な取り組みが
なされることを願うば
かりであります。
さて、本年は辰年、辰
は「漢書『律曆志』で「動

いて伸びる・整う」の意
味であり、草木が盛んに
成長し整う状態を表す
といえます。津波で何も
かも奪われた様を思う
につけ、本年が復旧・復
興に向けた大きな第一
歩となるよう祈りたい
と存じます。私も鹿児島
島県社協も「昇り龍」の
ごとく地域福祉の推進
に邁進する年としたい
と思っております。

そして、関係機関・団
体の方々との連携をさ
らに密にしていかなけ
ればならないと存じま
す。皆様の更なるお力添
えをお願いいたします。

新しい年が、素晴らし
いものになるようお祈
り申し上げ、年頭のご挨拶
といたします。



大韓民国 全羅北道社会福祉協議会役員 鹿児島県内福祉施設の研修視察や県保健福祉部長を表敬訪問



鹿児島県社会福祉協議会と大韓民国 全羅北道社会福祉協議会は、両
県・道民の福祉増進に寄与することを目的に、平成12年度から相互交流
を行っており、今年度は11月2日から6日の5日間の日程で、全羅北道
社会福祉協議会役員が来鹿されました。県内の社会福祉施設や県保健
福祉部長への表敬訪問のほか、「おはら祭り」や特産品である「黒酢の壺
畑」、名誉駅長の案内による「嘉例川駅」の見学なども行いました。

今回で4回目となる全羅北道

社会福祉協議会役員との公式訪
問には、昨年2月に会長に就任し
たばかりの車宗燻(チャジョンソ
ン)会長をはじめとする役員
に、柳基赫(ルウギヒョク)全羅北
道庁福祉女性保健局長などが加
わり、総勢十一人での鹿児島訪問
となりました。

○訪問先での概要

初日最初の訪問先である「ハ
トピアかごしま」では、身体障害
者更生相談所の駒路所長から韓
国語での施設概要をはじめ各機
関の事業実績等の説明があり、意
見交換や施設見学等を行いました。

次に、県社会福祉センターに場
所を移して「両道・県社会福祉協
議会役員懇談会」が行われ、県
社会福祉協議会の事業概要や東
日本大震災被災地支援等の報告
の後、意見交換等を行いました。

二日目は、南九州市にある社会

福祉法人敬和会を訪問しました。
「第一知覧育成園」や「障害者就労
支援センターみらい」等における
障害者の就労支援の取組や椎茸
及び鯉パックの生産設備とその
規模に驚いた様子でした。

三日目は最初に、鹿児島市にあ
る社会福祉法人恵心会の「特別養
護老人ホーム清谿園」を訪問しま
した。ここでは日本と韓国の介護
保険制度の違いや介護保険対象
外のサービス提供にも積極的に
取り組む運営方針等について熱心
に質問をしていました。

最後は、始良市にある社会福祉
法人建昌福祉会を訪問し、「さざ

○結びに

今回の全訪問先において、韓国
の福祉施策等と対比しながら、終
始運営状況等について熱心な意
見交換が行われ、私どもにとつて
も改めて課題や問題点が浮き彫
りになった有意義な訪問となり
ました。

終わりに、全訪問先の社会福祉
法人及び県関係機関等多くの
方々から多大なご支援ご協力を
いただき、また訪問に際しまして
盛大な歓迎をいただきましたこと
に対しまして、厚くお礼を申し
上げます。



施設見学・意見交換等の様子
(上: 就労支援センターみらい)
(下: 清谿園)



園児による歓迎の様子
(建昌保育園)